

-第2回- 企業インタビュー

福山電業株式会社 代表取締役社長 島田 宗輔 様

福山市近隣で活躍する企業の方にインタビューする企画。今回は、2018年5月に就任した33歳の若き新社長、『福山電業』の島田宗輔氏にお話を伺ってきました。

自分の頭で考え、行動できる人に。

福山市に本社を置き、尾道市、倉敷市にも支店を持つ当社でも短大卒業生が活躍してくれています。学生時代にしっかり勉強していて、好奇心旺盛な人が多い印象です。現場は安全第一でマニュアル通りにやらないといけない業界ですが、短大時代に学んだ知識や実習経験は、いずれ図面を描いたり、管理業務を行う際にきつと役に立つでしょう。毎年、短大の卒業研究の発表を見に行っていますが、内容の面白さと完成度の高さに驚いています。今年も楽しみにしていますよ！

当社が求めるのは、「何が正解なのか、どうやるべきかを自分の頭で考え、行動できる人」。どうすれば事故なくスケジュール通りに進められるか、限られた予算の中でどれだけお客様のニーズに応えられるか。機械化が進む時代だからこそ、「お客様に喜んで欲しい」という思いやりの気持ちや、人と人とのコミュニケーションが大切だと考えます。

学生さんには、時間に余裕のある今の間に、自分が働く理由について考えてみて欲しいですね。社会に出ると想像とは異なることも多く、現場でのギャップに悩む人も。そんな時、自分がなぜ働いているのかが明確であれば、モチベーションを上げることができるのです。



福山電業 株式会社
昭和21年(1946年)の創業以来、公共施設から民間施設、個人住宅まで、電気設備工事の設計・施工を幅広く手がける。2002年からは太陽光発電事業に参入し、省エネ・創エネという二つの切り口から新時代のエネルギー社会に貢献。

中国職業能力開発大学校附属福山職業能力開発短期大学校

福山能開短大 News vol. 30



学園祭 & ものづくりフェスタ 開催

～平成30年度 卒業制作発表会のご案内～

今年度の卒業制作発表会(ポリテックビジョン2019)を下記日時で開催します。是非お越しいただき、学生の2年間の集大成をご覧ください。

【日時】平成31年2月27日(水) 9:00～ ※開始時間は予定になります。
詳細スケジュール・会場等、詳しくは学務援助課までお問い合わせください。学務援助課(TEL.084-926-2351)

中国職業能力開発大学校附属 福山職業能力開発短期大学校

〒720-0074 広島県福山市北本庄4-8-48
TEL.(084)923-6391 / FAX.(084)921-7038
http://www3.jeed.or.jp/hiroshima/college

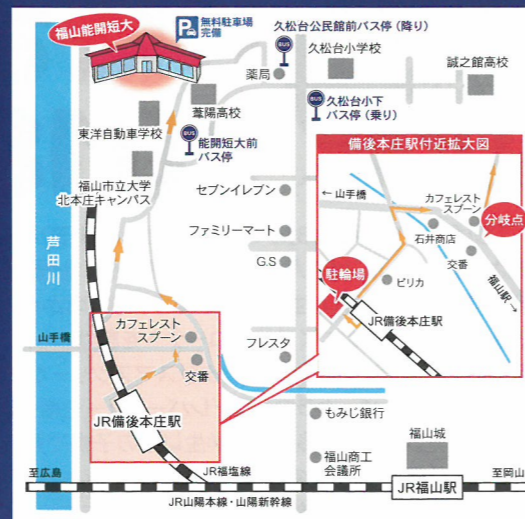
アクセス

- 山陽本線 福山駅より自転車約15分
- 福塩線 備後本庄駅より徒歩約15分、自転車約5分
- タクシー: JR福山駅より約10分
- バス: JR福山駅 中国バス7番乗り場 向陽循環線(乗車約10分) 「久松台公民館前」下車徒歩約10分

※乗りは「久松台小学校下」からの乗車となります。
※バスの本数は「向陽循環線」は毎時1～2本、「本庄循環線」は1日2本程度です。



アクセスMAP専用 QRコード (Google Maps)



10月27日(土)に学生自治会主催の学園祭「姫谷祭」が開催されました。また同日に、小学生を対象とした「ものづくりフェスタ」も開催されました。前日の雨のため当日朝早くからみんなで最終設営をするなど、大変な一日のスタートとなりましたが、様々なイベント、模擬店を盛大に行うことができました。イベントとして学生によるアムレスリング、仮装大会、そして豪華景品が当たるビンゴ大会が行われました。また各クラスは模擬店で一生懸命料理をつくり、販売しました。

毎年学園祭では、卒業制作で作製されたゲーム等が披露されますが、生産技術科からは「パニックハウス」「ゼロハンカー」の試乗体験、電気エネルギー制御科からは「クレーンゲーム」、電子情報技術科は「ミニサッカーロボット競争」「VR(バーチャルリアリティ)」体験などが行われました。来場者には楽しく各体験

ゲームを行っていただくことができました。このように卒業制作課題は、主に社会生活に役立ち、楽しめるものをテーマに設定し、取り組んでいます。

同時開催のものづくりフェスタでは、「自由に曲がるプラスチックでスタンドづくり」「光を追いかけるロボットづくり」「金属探知機づくり」「ジオラマづくり」「ペーパークラフト」等たくさんのメニューを用意し、多くの子供たちにもものづくりの楽しさを体験してもらうことができました。この体験がものづくりに興味を持つきっかけとなれば幸いです。

自治会役員はこの日のために、長い時間をかけ準備をしてきました。学業に忙しい中、大変ご苦労様でした。いい経験になったと思います。来年も次期役員に今回の経験が引き継がれることを期待します。

福山能開短大 検索

Device2Cloudコンテストで「特別賞」を受賞しました!!

当校の電子情報技術科2年のチーム「瀬戸内TEC」(和泉 智也、岩本 唯希、占部 蒼馬)の3名がDevice2Cloud(以下「D2C」)コンテストにエントリーして予選審査を通過し、12月8日(土)東京品川にある日本マイクロソフト株式会社本社セミナールームで開催された決勝大会に参戦し、特別賞を受賞しました。「D2Cコンテスト」は、学生主体のコンテストで、組み込み機器をクラウドへつなぐことで広がる可能性を探求し、使って楽しく、役に立つアイデアを競うマイクロソフトと東京エレクトロンが主催するコンテストです。4月から企画準備を始め、6月にエントリー、8月に技術トレーニング、10月に予選審査が行われ、11月に結果発表、15チーム中8チームの内の1チームとして決勝大会に進むことになりました。決勝大会までの期間には校内で事前発表会(プレゼンテーション)等を繰り返し行い、決勝大会では審査員と観客の前で自信をもってプレゼンテーションとデモンストレーションを行うことができ、3位に相当する特別賞を獲得しました。今後に向けて、チームの反省点としての「システム構築の作りこみの甘さ」があり、2月の卒業研究発表会に向けて更に改良を加えていく予定です。

受賞作品 顔認証・文字認識システムによる スマート入場管理システム



左から和泉 智也君、岩本 唯希さん、占部 蒼馬君



左写真:顔認証・文字認識システムによるスマート入場管理システム

大会終了後、参加した感想を3人に聞きました!

和泉君: デバイスの製作を行うにあたってグループワークの大変さを知りました。
岩本さん: コンテストという人に評価される場面でのプレゼンは素晴らしい経験になりました。
占部君: 他のグループのプレゼンや交流会を通じて自分では想像もつかないことを見聞きできたのは新鮮でした。

応用課程 説明会と見学会



1年生にとっての進路決定に必要な応用課程の説明会と見学会が開催されました。説明会は、10月17日(水)に中国職業能力開発大学校(中国能開大)から各応用課程の先生と学生(当校卒業生)が来校し、各科の教室でPowerPointを使ってのプレゼンと質疑応答が行われました。そして11月21日(水)には1年生全員がバスで中国能開大へ見学に行きました。到着後まず始めに、中国能開大の塚本校長から挨拶と応用課程の話があり、その後、各科に分かれての見学・説明が行われました。開発課題の説明を中心に、応用課程で学ぶ内容とその実習環境等について、応用課程の先生からの話があり、実習場などを見学しました。最後に当校出身の先輩との座談会が行われ、就職活動・就職先など、応用課程卒業後の進路について詳しく説明を聞くことができました。このNewsが発行される時期には1年生は、応用課程進学か就職かを決めていると思います。それぞれの道に向かって、各自頑張ってください。

※応用課程とは当校で実施している専門課程(2年間)から進学できる課程で、一般大学の3年次、4年次に相当するものです。
※開発課題とは企業から提示された課題をテーマとし、応用課程の異なる3科の学生がグループとなり、役割分担をし、卒業制作を行う授業です。

企業見学会

毎年、福山産業教育振興会(産教振)の協力を得て、1年生各クラスが地元企業へ訪問する企業見学会が11月7日(水)に行われました。生産技術科は「常石造船(株)」へ、電気エネルギー制御科は「日東製網(株)」、「(株)シーケイエス・チューキ」、電子情報技術科は「(株)栄工社」「(株)大洋電機産業(株)」を見学しました。各科はそれぞれバスに乗り、見学先に向かいました。

常石造船は、あまりにも広大な敷地内のため、バスの中からの見学となりましたが、大型タンカーを造る工程や同じように見える船もそれぞれの用途の違いや発注者の要望による違いがあることなどの説明を頂き、学生は感銘を受けていました。見学の後、会社概要説明と活発な質疑応答が行われ、学生たちにとって就職・仕事に対する意識、社会人としてあるべき姿、そして今何をすべきなのかを知る事ができたと思います。今後の進路を考える上で重要なこの見学会に協力を頂いた、産教振と訪問を受けていただいた各社に感謝を申し上げます。



技能検定(国家資格)に5名合格しました!

10月29日(月)に表彰式を開催し、技能検定の合格証書を授与しました。生産技術科2年生4名が普通旋盤作業3級を、電子情報技術科2年生1名が電子機器組立3級に、それぞれ合格しました。放課後や休日に検定実技の特訓を行い、今回の結果に結びつきました。

ちなみに生産技術科4名はカスタム、JFEプラントエンジ、池田糖化工業、シーケイエス・チューキ に就職が内定し、電子情報技術科1名は中国能開大応用課程への進学が決まっています。今回の経験を糧にそれぞれの道で活躍することを願うとともに、今後さらに上の級を目指してほしいです。合格、おめでとう!!

(注)技能検定とは、働くうえで身につける、また必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度。機械加工や電子機器組立など130種類の試験がある。合格すると「技能士」と名乗ることができる。



写真左から板野校長、井上 優也君、井上友一朗君、永田 義貴君、水川 舜介君、山本 直輝君、山田先生、仲丸先生、柳課長。

アグリビジネス創出フェア 出展報告

11月20日(火)から22日(木)の3日間にわたり、東京のビックサイトにおいて、「アグリビジネス創出フェア」が開催されました。企業を始め、公的機関、大学関係から多数の出展があり、たいへん盛大に行われました。当校を運営する機構の施設としては、当校を始め、北海道能開大、関東能開大、九州能開大、京都能開短大から出展しました。各能開大では企業からの課題提示されたものを開発課題という授業において製作したものを展示し、当校と京都能開短大は企業と実施した共同研究で製作したものを展示しました。当校では、昨年度の共同研究で佐藤教授が開発した「オールステンレス洗浄ガン」(2018年グッドデザイン賞を受賞)を展示しました。佐藤教授は、実際にどんな製品かわかるようにとデモ装置まで製作し、来場者は実物を触りながら操作性を確認していました。来場者の中には、「すぐに欲しいからどこで売っているか教えて欲しい。」という方や、「野菜を洗浄するのにこのケースの装置の方が欲しい。」といった方までおられ、たいへん興味深く見ていました。また、中には専門的な相談を持ち掛けて来られる方もおられ、農業分野の進展を垣間見るようなこともありました。最終日の後半には、佐藤教授による「産学連携によるオールステンレス洗浄ガンの研究開発」に関する発表(セミナー)が行われ、開発の背景、洗浄ガンの効果、洗浄ガンの改良などの話があり、参加者は興味深く、聞き入っていました。



ええいっかん! びんごりの ものづくり じばさんフェア 2018出展報告!

「じばさんフェア2018」が11月17日(土)、18日(日)に福山駅前のエフビコRiMの7階で開催されました。「じばさん」という名のとおり、地場の産業をPRする場として各企業、地元大学などのブースが並ぶ中、当校は小さい頃からものづくりに興味を持ってもらうことを目的としたものづくり体験コーナーを設けました。これからクリスマスシーズンを迎えるにあたり、サンタクロース、クリスマスツリーなどの製作に加え、万華鏡、ジオラマ、ゴム鉄砲、ペーパークラフトなどレパートリーを増やし、昨年に比べ、充実した内容で実施しました。参加者の多くは小学生以下の子供で熱心に取り組み、中にはお父さんが良いところを見せる絶好の機会になったご家族もおられ、たいへん賑わいました。将来は、ものづくりのまち福山を担ってもらえる人材になってくれるものと信じています。

